



進路だより

2024. 10. 1

第 71 号

香川東部支援学校
進路指導部

働く

校長 菊田 一之

今年で香川東部支援学校での勤務が通算 20 年になります。長く勤務していれば、それだけたくさんの卒業生を知っていることになり、進路指導主事からもらった「卒業生進路先一覧」を眺めながら、卒業生が本校に在学していた頃の様子を思い出すのが最近の楽しみになっています。思い出すのは、修学旅行や若竹祭などの学校行事での様子もありますが、一番多いのは現場実習での様子です。特に高等部 3 年生の時に担任をしていた生徒の現場実習のエピソードはよく覚えています。業務用掃除機のコードを本体に巻くつもりが、なぜかコードに巻かれてしまった生徒、ロッカーの鍵をポケットにしまったつもりが、なぜかごみ袋に捨ててしまった生徒、朝になんとなく口に入れたガムを、なぜか実習がはじまって噛み続け、しかも注意すると、なぜかポケットのハンカチにくるんだ生徒…今となっては笑い話ですが、当時は「こんなんで大丈夫か？」と、自身の指導は棚に上げて心配しました。そんなこんなはあったものの、この 3 人、その後の努力と職場の理解のおかげで立派に内定をいただき、卒業して 10 数年を経過していますが、今もしっかりと会社で働き、職場の方から頑張っている様子を聞くことができ嬉しく思います。また、就労継続に危機を迎えた卒業生の職場からの呼び出しや相談を受け、なんとか職場の方と問題を解決し、つなぎとめることのできた安堵に浸ったこともあります。

良いことばかりではありません。ご縁に恵まれて入社した会社をすぐに退職した生徒、体調を崩し退職した生徒、会社のトラブルに巻き込まれた生徒…再就職できていれば少しは救われるのですが、その後がわからないこともあり、心配したり、落胆したりします。

ずいぶん前になりますが、進路先訪問で訪れた事業所でこう言われました。「●●さんがいてくれるだけで、周りのみんなが元気になる。ここに通ってくるのが●●さんの立派な仕事なのです。」この一言は私の進路指導に対する考え方を大きく変えてくれました。「働ける」ことと「働いてくれる」こと、その間に双方向の感謝があれば、働きがいをもって続けられるのではないだろうか、進路指導で大切なことのひとつに「感謝する気持ち」を育むことがあるのではと考えるようになりました。それ以来、生徒たちを実習に送り出すときは、必ず感謝の気持ちをもって取り組んで欲しいと伝えています。

そんな経験を経て思うことは、本校の児童生徒には様々な経験や学習をして卒業した後にお世話になる職場とのご縁を大切に、そして職場で感謝し、感謝されながら働きがいを感じて欲しいということです。そして働きがいを感じながら社会に参加し、社会の一員として役に立っていることを実感して欲しいということです。

進路指導に奔走された大先輩はこう言いました。「はたらくということは『はた（讃岐弁で周り）』を『楽』にさせること」だと。ここでの『楽』は単に「負担をかけない」という意味だけでなく、「喜ばせる」、「愛する」という意味も含まれると私は解釈しています。本校の「働く力」を養う取組を、この進路だよりを通じてお知らせしますので、ご一読くだされば幸いです。

小学部

5, 6年生が、中学部の前期作業週間中、4つの作業班を見学しました。6年生は、昨年まで小学部に一緒にいた一学年上の先輩たちが、すでに堂々と作業に取り組む姿を見て、身近な将来の自分のこととしてとらえられた児童もいました。見学を終えると、「アイロンビーズが楽しそう!」「紙ちぎりをやってみたい!」などと自分の興味のあることを見付けることもでき、中学部での作業学習に期待し、楽しみにする様子が見られました。



細かいアイロンビーズだなー!



あの先輩が上手に一輪車を操作してるなー



紙ちぎりは、金網の目より小さくちぎるんだね!



中学部

中学部3年生では、高等部の前期現場実習期間中に、先輩たちの実習の様子を見学しに行ってきました。香川大学附属農場では、道具の運搬作業や田植え作業を見学しました。暑い中でも動きを止めずにきびきびと働く先輩の姿を見て、働くための体力づくりの大切さを学びました。また、マルナカ長尾店では、商品の品出し作業や陳列作業を見たり、実際に買い物をしたりして、丁寧に仕事をすることや気持ちの良い挨拶をすることの大事さに気付くことができました。この経験を活かして、3年生が後輩の良き手本となり、中学部みんなに元気な挨拶や丁寧な仕事ぶりが広がるといいですね。



先輩たち、
すごくがんばって
いてかっこいい
なあ☆



ていねいな
あいさつや
話し方って
気持ちいい♪





高等部



1年 前期校内実習

高等部1年生は、「元気・やる気」のテーマのもと、6月17日（月）から28日（金）までの2週間、校内実習に取り組みました。最初の3日間は、毎年1年生が職業能力アセスメントとして実施しているボールペン検査（組立・分解）をしました。1時間ごとに自分のデータを確認しながら自己評価し、目標の数に到達するよう全力で取り組みました。長時間の立ち仕事は初めてでしたが、3日間で全員がスピードアップすることができました。1週目後半、20日、21日は、会社からの受注作業とボールペンの消毒作業に分かれて作業をしました。受注作業では不良品を出せない緊張感と納期を意識しながら全員で協力し、最後までやりきることができました。2週目は、24日に2年生の実習先の見学をしました。2年生に刺激をもらい、来年度は自分たちが現場実習に行くことをイメージできました。最後の4日間は、大川バスの清掃、陶芸、受注・リサイクル作業に分かれて取り組みました。大川バスの清掃では、初めての外部作業で緊張することもありましたが、職場の方の顔を見て挨拶や報告をし、時間内、任されたことを一生懸命取り組むことができました。陶芸と受注・リサイクル作業では、役割分担をしながら、自分の担当に責任を持って取り組みました。前期校内実習では、全員がどの場面でも集中して作業に取り組むことができました。後期校内実習では、前期よりもステップアップした目標や内容を設定し、次年度につながるようになっていきたいと思います。



2年 前期現場実習

高等部2年生は、6月17日（月）から28日（金）までの2週間、現場実習を行いました。今回の実習は、「将来に向けて全力投球 挑戦・一生懸命・集中」を合言葉にこれまでの学習で身に付けた力を、実際の職場でどれだけできるかを試しました。

実習先では、一人ひとりがもてる力を出し切り、自分の立てた目標を達成できるように取り組みました。緊張をしたり戸惑ったりしたこともありましたが、たくさんの方に支えられ、無事実習を終えることができました。この経験を生かし、見つかった課題を達成するために学習や部活動など一生懸命頑張りたいと思います。

マルナカ三木店



商品の品出しや前出しをしました。

マルナカ長尾店



商品の品出しや野菜の袋詰めをしました。

東かがわ市役所



郵送書類の封入やはんこ押しをしました。

香川大学農学部附属農場



野菜の収穫や草抜きなどを行いました。

段ボールのバリ取りをしました。

のぞみ園（B型・生活介護）



個別課題や歩行をしました。

創作活動や散歩をしました。

コンサフォス





3年 前期現場実習

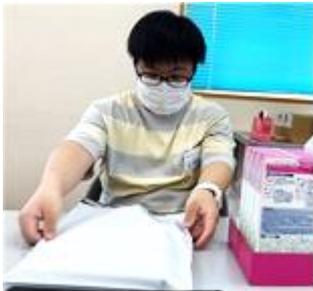


高等部3年生は、6月10日～28日までの3週間、それぞれの進路決定に向けて現場実習に取り組みました。希望する実習先での個別実習の他、グループホームでの生活を体験した生徒もあり、卒業後の生活をイメージできたのではないかと思います。今回の実習で見つかった成果と課題を、後期現場実習につなげていきたいと思っています。

<お世話になった実習先>

就労継続支援B型

エコランド鶴足津 ・ SCC 牟礼
ワークセンターはくちょう
氷上ファクトリー ・ ぎんせいワーク
支援センタードリーム コンサフォス



【商品の発送準備】

商品の向きや、シールの貼り方、箱の向きに気を付けながら丁寧に作業をすることができました。



【商品の梱包準備】

枚数を数えて揃え、互い違いに並べる作業をしました。数や向きを確認しながら正確に作業をすることができました。



【そうめんの箱入れ】

商品の向きや作業の仕方を覚え、作業に慣れてくるとスピードアップして作業をすることができました。

生活介護

アイルコート コンサフォス里結び きらり
ミルキーウェイ

【書類の穴あけ】

事務室で使用する書類に、穴あけパンチを使って綴じ穴を開ける作業をしました。担当の方と一緒に楽しく作業をすることができました。



グループホーム

社会福祉法人もえぎの会 グループホームライフ
社会福祉法人鶴足津福祉会 エコランド鶴足津
社会福祉法人やまびこ会 グループホームそら

就労継続支援A型

Do やまびこ

【弁当の仕込み】

材料を包丁で切ったり、おかずの盛り付けをしたりしました。手本を見て、大きさや量ができるだけ同じになるように作業ができるようになりました。



就労移行支援

ワークセンターはくちょう



【商品の梱包作業】

LAN ケーブルの梱包作業をしました。商品の向きを確認しながら、商品や袋を傷つけないように丁寧に作業をすることができました。

一般就労

株式会社レクザム香川工場
共同生活援助・短期入所 コンサフォスSGH
生活協同組合コープかがわコープ志度店
四季食彩館ムーミー志度店



【トイレ清掃】

広い工場内の全てのトイレの場所と手順を覚え、決められた時間内に手際よく作業ができるようになりました。

【精肉の販売準備】

鶏肉を包丁でカットし、計量、ラッパー、シール貼りをした後、売り場で品出しをしました。商品販売までの一連の流れを知ることができました。



進路指導部

保護者進路研修会(障害福祉サービス説明会)

8月1日(木)保護者進路研修会として障害福祉サービス説明会を行いました。最初に、さぬき市障害福祉課の山津様より「障がい者サービス等制度について」という題目で、障害のある方に関する制度やサービスについて幅広くお話をしていただきました。特に、学校卒業後に利用する障害福祉サービスの内容や利用に向けての流れについて詳しくご説明いただき、「何か分からないことがあれば、行政の窓口でご相談ください。」と仰っていただいたことが非常に心強く感じました。

その後、高等部食堂、中学部食堂へ移動し、行政相談会、障害福祉サービス事業所説明会を行いました。さぬき市、東かがわ市の行政相談ブースと16の障害福祉サービス事業所のブースを設け、保護者の皆さんが自由にお話を聞きに行くことができるようにしました。どのブースでも、保護者皆さんの現在の困り感や日中活動の様子、送迎について等の質問に対して、行政や事業所の方が丁寧に説明をしてくださり、それをまた、保護者の方が熱心に聞いている姿が印象的でした。事後のアンケートでも、保護者の皆さんの100%が「必要な情報を得ることができた」と回答してくださり、有意義な研修会になったと思います。

【参加者】

さぬき市障害福祉課	1名	小学部保護者	4名	本校職員	26名
東かがわ市市民部福祉課	2名	中学部保護者	7名	他校職員	3名
障害福祉サービス事業所	28名	高等部保護者	21名	計	29名
計	31名	計	33名		



【行政・事業所アンケートより(一部抜粋)】

- ・今回このような場に参加させていただいてありがとうございました。事業所としても保護者さんと話をさせていただく事で良い機会になりました。
- ・皆さん、いろいろな事業所の話が聞けて参考になったようです。継続して開催してもらうことで生徒さんたちの選択肢の拡大に繋がるように思います。
- ・個別にゆっくり説明できました。聞きにくいことや言いづらいことなど、お話が出来てとても有意義な説明会だったと思います。

【保護者・教員アンケートより(一部抜粋)】

- ・行政と福祉サービスの話が聞けて良かったです。保護者にとっても、欲しい情報や分からないことが一度に聞けて、いい説明会のように感じました。
- ・たくさんの施設が参加してくれていたのが、施設の特徴がよくわかって良かったです。
- ・詳しく聞くにはブース毎が良かったです。しかし、初めに少し簡単でいいので、全部の説明があるとブースを選び易くなるような気がしました。



☆ N・Y さん（令和4年度卒業生）

進路先

- ・株式会社FUJIDAN（一般就労）

勤務時間や日数、休日、通勤方法

- ・9：00～16：15（土、日、祝日休み）
- ・バスを利用しての通勤

主な業務内容

- ・検品作業、シール貼り
（今後は機械操作を覚えて新たな業務にも挑戦する予定）



今の本人の気持ち

- ・職場では多能工化が求められ、新しい仕事を教えてもらうことが増えた。いろいろなことができるようになり、集中して取り組むので時間が過ぎるのが早く感じる。難しく感じる事もあるが、周りの皆さんはとても優しいので、わからないことはすぐに聞ける職場環境はありがたい。

休日の過ごし方

- ・外食や買い物に出かけたり、好きな神社巡り、県外へ出かけたりと、自分の好きなことをして過ごしている。休日に好きなことをするために、普段の仕事をがんばるぞという気持ちで仕事に励んでいる。

後輩へのメッセージ

- ・失敗したら落ち込むと思うが、落ち込んでいたら休日が楽しくなくなる。休日を楽しむために切り替えて、失敗を恐れず、失敗から学んで成長できることを知ってほしい。

職場の方の声

- ・入社から一年間は検品作業に専念してもらったが、とても細かな所まで見てくれて、製品のクオリティが向上した。これからは一緒に目標を設定しながら新しい仕事も取り組んでいてもらいたい。素敵な笑顔で職場でも良い関係を築くことができている。